HERO'S SAGA LAEVATEIN
ART WORKS





Contents

1 …扉絵
2 …Contents
3 …Greeting
4 …第二次英武戦争とは
5 …第一次英武戦争とは
6 …英雄武装とは
7 …英霊とは
8·9 …英霊軍団
10·11 …戦国絵巻

キャラクター紹介

バレンシア王国軍
12 ……エルネスト
14 ……クラウディオ
16 ……ディアーナ
18 ……ヴァレリー
20 ……パブロ
22 ……ウラッカ
24 ……クレーフィ

ガリア帝国軍
26 ……グレゴアール四世
27 ……メギストス
28 ……ルドルフォ
30 ……エイル
32 ……ブランカ
34 ……ローズ

はざまの世界
36 ……ノーライフキング
37 ……ワーズ卿

イラストギャラリー
38 ……「戦士の休息」
39 ……「後顧の憂い」
40 ……「黄昏時のお姫さま」
41 ……「彼女の戦場」
42 ……「道草」
43 ……「桜花爛漫」
44 ……「明鏡止水」
45 ……「３人の絆」

46·47 ……Movie Continuity
48 ……Colophon



Greeting

この度は、『英雄戦記レーヴァテイン』をご購入頂きまして誠に有難うございます。
スタッフを代表しまして謹んで御礼申し上げます。

本誌をご覧になって頂く前に『英雄戦記レーヴァテイン』の鍵となる『英雄武装』の設定が産声を上げるきっかけをお話したいと思います。

『三国志』『戦国武将』『円卓の騎士』など、史実や伝説で活躍した英雄の武勇伝に心躍らせたことが誰にでもあるかと思います。剣術の才に長けている者、知略を極めた者が、鬼の形相で部下へ檄をとばす反面、女性にはめっぽう弱かったり……。

そんな個性豊かな英雄達を仲間として、活躍させて、また、遊び手が自分なりの戦記を綴るようなことができればと! ある意味妄想に近い思いから企画の着想を進めることとなりました。

世界観の構成は、ゲームシステムやシナリオで重要な鍵となっている『英雄武装』と呼ばれる魔道武器を中心として進めていました。『英雄武装』とは生前に偉業を成した英雄の魂を武具に固着して、過去の英雄の能力を引き出せると言うものです。

実は、この『英雄武装』の仕組みをビジュアルで表現するために、予想外の壁にあたってしまいました。「こんな難解な仕組みを表現できる作家さんがいるのか?」……と。神格化された『英霊』は実体とも影とも分からないような描写をする必要があり、また『英雄武装』をまとった英雄は英霊とともに並べてバランスを取って描きおこす必要があり、実現させるためどうしたら良いのか制作スタッフで苦悩する日々が続きました……。

田口さんとお仕事をするようになったのは共通の友人の紹介でした。最初の打ち合わせでは、私にビジュアルイメージが無く残念ながら『英雄武装』のイメージを的確にお伝えが出来無かったのですが、今思えば、資料を見た段階で彼の中では、既に設定画の構想が出来上がっていたように思えます。最初に上がった設定画は私の予想をはるかに超えた内容で、まさに、目から鱗が落ちた気持ちになりました。

皆様には色々なメディアで田口さんの設定画の一部をご覧になって頂いているかと思いますが、本誌では渾身の描き下ろしもご用意してありますので、楽しんで頂ければ幸いです。

なお、本誌では物語の後半に登場する人物や出来事など(ネタバレ)も描かれていますので、あらかじめご了承を頂きたいと思います。

Tomoyuki Itoh

第二次英武戦争とは

バレンシア王国第２王子エルネスト・ディアスが率いる反ガリア帝国軍とグレゴアール４世が率いるガリア帝国との紛争から、第１王子クラウディオ・ディアスを盟主としたバレンシア王国とガリア帝国との戦争にまで発展した、一連の戦いを第二次英武戦争という。この戦争は１５年前の第一次英武戦争終結後、初となる戦争でもある。

事の発端は、どのような経路で手に入れたかは謎に包まれているが、ガリア帝国にしかあるはずのない魔道の武器「英雄武装」をバレンシア王国第２王子エルネスト・ディアスが所持したことにある。ガリア帝国は、エルネストと英雄武装の引き渡しなどを要求したが、エルネストは拒否。英雄武装を手にガリア帝国に反旗を翻すこととなる。ガリア帝国は、この事件に対しバレンシア王国に責任を取るよう求めた。バレンシア王国は、エルネストを捜索し見つけ次第、帝国に引き渡すと約束をしたが、後にバレンシア王国が宣戦布告していることから、実際には捜索などはせず、秘密裏に反抗作戦を企てていたと考えられる。

少数とはいえ、エルネストが所持した英雄武装は、ガリア帝国が持つ英雄武装よりも性能が高かったため各地で勝利を収めることとなる。また、第一次英武戦争時に滅ぼされた国も反ガリア帝国軍に参戦。これで、反ガリア帝国軍は１国家に匹敵するほどの力を持つこととなる。しかし、快調かと思われた反ガリア帝国軍に最大の難関が立ちふさがる。帝国最強と謳われるルドルフォ率いる帝国軍第１部隊が待ち伏せしていたのである。さすがの反ガリア帝国軍も苦戦を強いられ、これまでかと思われたそのとき、バレンシア王国がガリア帝国に宣戦布告。ルドルフォ率いる帝国第１部隊は、バレンシア王国の伏兵に隙を突かれ敗走した。

バレンシア王国は、帝国軍第１部隊を退けた勢いでガリア帝国領内に進軍する。しかし、その進軍途中、突如としてバレンシア王国はガリア帝国に対し、全面降伏を申し出る。帝国がこの謎の行動の真意をはかりかねていると、謀ったようにガリア帝国帝都に大地震が起こり帝都は相当の被害を受け、戦争を続けるどころの騒ぎではなくなった。そこで、バレンシア王国とガリア帝国はこれ以上の戦争は無意味とし、休戦協定を結び両国で帝都再建を目指すこととなったのだった。

こうして、多くの謎を残し第二次英武戦争は一応の終結を迎えた。

第一次英武戦争とは

１７年前に、ガリア帝国が近隣諸国に仕掛けた戦争である。当初、各国はガリア帝国を軽視し、逆にガリア帝国を返り討ちにして滅亡させようと考えていたが、その考えは半月程度で覆させられる。ガリア帝国に隣接していた国々があっという間に陥落したのである。予想外の出来事に、各国は混乱を極めた。その混乱に乗じてガリア帝国は、容赦無く縦横無尽に次々と近隣諸国を陥落させていった。そうした戦火の中、ある噂が立つこととなる。

「ガリア帝国には魔道の武器がある。従えばその武器がもらえるらしい」

この噂は瞬く間に広まり、ガリア帝国に無条件降伏する国が増えていった。破竹の勢いで侵略を続けるガリア帝国は、レマ湖で激しい抵抗を受けることとなった。しかし、ガリア帝国との圧倒的な戦力差によりレマ湖も陥落する。このレマ湖陥落により完全に、ガリア帝国はユーラメカ大陸の北部を征服することとなる。

そのガリア帝国に最大の難関が立ちふさがる。それは、南部で最大級の規模を持ちルドルフォを王とするビテュルス統一国家、そしてバレンシア、アラゴンの２王国を同盟国とするカスティリア王国である。ガリア帝国は、まずカスティリア王国に攻め込むが、カスティリア王国の予想以上の戦力により大きな損害を被った。そこで、一端矛先を変えビテュルス統一国家に攻め込む。しかしそれは、カスティリア王国の作戦だった。ビテュルス統一国家に矛先を向けたガリア帝国を、カスティリア王国とビテュルス統一国家で挟み撃ちをするという作戦だった。ガリア帝国は、その作戦に気づかず、まんまとカスティリア王国の作戦にはまったが、それは上手く行かなかった。

なぜなら、ビテュルス統一国家が無条件降伏したためである。さらにはビテュルス統一国家が無条件降伏した直後、機会を虎視眈々と狙っていたアンドルラ伯がガリア帝国につくこととなる。カスティリア王国は、逆にガリア帝国とアンドルラ伯に挟み込まれてしまったのである。カスティリア王国は、バレンシア王ロドリコと供に奮戦をするが、敗北。バレンシア王国までに手が及ぼうとしていた。しかし、ガリア帝国が力を慢心している隙を突き、ロドリコはカスティリア王国からバレンシア王国まで帝国軍を各個撃破していく。しかし、まさにロドリコがバレンシア王国領内にたどり着く直前、たった１本の矢がロドリコの胸を突き刺した。

ガリア帝国は、ロドリコ亡きバレンシアに攻め込むチャンスだったが、ほぼ休みなく戦争を仕掛けていた上に、カスティリア王国での被害もあり兵士は疲弊しつくし、限界だった。グレゴアール４世は、周りの説得によりしぶしぶ終戦を決定。この戦争により独立を保てた国は、バレンシア王国とアラゴン王国のみであった。

後に、このガリア帝国による戦争を『第一次英武戦争』と呼ようになる。

英雄武装とは

英雄武装とは、ガリア帝国宮廷魔道師であるメギストスが創り出した魔道武器である。ガリア帝国に仕える以前のメギストスは、妻のヴィクトリアとともに最高位の錬金術師と呼ばれるほどだった。彼らは、金を錬成することではなく魂の根源についての研究をしていたが、その研究の過程で死者の魂を呼び出すことに成功する。さらに、呼び出した死者の魂から高密度のエナジーが発生することを発見する。しかし、その魂は直ぐさま消失してしまった。

そこでメギストス夫妻は、まず魂を現世にとどまらせる研究を行うことにした。メギストスが理論を立て、ヴィクトリアが実験をする。度重なる研究により、ヴィクトリアは無機物に魂を固着することに成功するが、単純な無機物——例えば鉄の棒などに魂を固着すると、魂から得られるエナジーに耐えられず固着させた物質が破損してしまうことが判明した。2人は壁にぶち当たることとなる。

メギストス夫妻は、どのような媒体が魂の固着に適しているかを試した。しかし、金や銀はもちろんのこと、金剛石でも魂から発生されるエナジーには耐えきれなかった。実験は失敗続きであったが、メギストス夫妻はなんとかそのエナジーに耐えうる物質を見つけるべく、徹夜で実験を繰り返していた。ある日、偶然にヴィクトリアが誤って包丁に魂を固着させてしまったことで、メギストス夫妻は、疲れがピークとなっていたと感じ休みを取ることにした。

休みから戻ったメギストス夫妻は驚愕した。魂を固着させたため、破損してしまっているはずの包丁が原形ををとどめていたのだった。メギストスが包丁を持っても何も起こらなかったため、メギストスは、疲労がひどかったために包丁への魂の固着が失敗したのだと思った。だがしかし、ヴィクトリアが包丁を手にしたとき、ヴィクトリアの身体が光に包まれ、同時にヴィクトリアは自分の体に強いエナジーを感じたのである。奇跡は起こった。魂は包丁に固着されていたのである。

この結果に、二つの疑問点が浮上した。「なぜ、包丁は壊れなかったのか？」ということと「なぜ、ヴィクトリアだけに反応したのか？」である。

メギストス夫妻は元の鋼である包丁鉄と包丁との差を考え、一つの仮説に至った。包丁は包丁鉄を鍛錬して出来ていることが問題であると考えた二人は、鍛錬された物体——すなわち剣などの武器に魂を固着させた結果、見事に媒体を壊さずに魂を固着することに成功した。また、ヴィクトリアのみに反応したことについてはすぐに解決することとなった。いくつかの武器に魂を固着させた結果、メギストスにも反応する武器が存在し、「魂にも相性がある」ということが判明したのである。

この様々な実験によりできた武器が『英雄武装』の先駆けとなったのである。

英霊とは

英霊とは、一般には英雄武装に固着された魂のことを指す言葉であり、狭義では英霊を発見したメギストス夫妻によって以下のように定義されている。

「英霊とは生前に偉業を成した、英雄の魂のことである」

英霊については、近年第二次英武戦争の折りにバレンシア王国第１王子クラウディオ・ディアスによって再び研究が成されている。それは従来の錬金術的な側面ものではなく、英霊となる存在はどのような時代に生まれ、どのようなことをしてきたのか、というものであった。
この研究の結果、英雄武装に固着する英霊の多くは、ユーラメカ大陸ができる遙か以前の太古の世界を生き抜いた英雄であることが解った。さらにはユーラメカ大陸に伝わる伝説が、少なくとも脚色の有無は別として実際に起きていたことが判明することとなった。なぜなら、伝説上の人物だったと思われる「オーディン」や「フレイヤ」などが英霊として英雄武装に固着されていたからである。
また、英霊の出自に着目した結果、カスティリア王国の研究も進むこととなった。英霊は、生前の姿ではなく縁があったものや、伝説となった事柄に近い形として具現化していたが、中には太古の世界とは違った姿形、雰囲気の英霊も存在していた。その姿形が異なる英霊の多くが、カスティリア王国独自の武器である「刀」を所持していたのである。クラウディオはカスティリア王国にまつわる文献を改めて調べることにした。結果、カスティリア王国にはその昔、東方の島国から来たとされる人物がおり、その血を現在まで引き継いでいることが判明した。カスティリア王国独自の文化は、血筋を含め、東方の島国が由来であることが同時に判ったのである。
このように、英霊はユーラメカ大陸に縁のある英雄たちの魂であることが判るのだが、ここで１つの疑問が浮上することとなる。それは

「なぜ、ユーラメカ大陸に縁のある英雄しか英霊とならないのか？」

という点である。そこで、クラウディオは英霊になる条件としてメギストスが唱えた定義の他に、上記の疑問点から逆説的に、以下のような仮説を打ち立て現在も研究をつづけている。

「英霊として魂を固着させるためには、その魂が成した偉業を知らなくてはならない」

武器に英霊を固着することは『１００％成功するとは限らない』と言われているが、クラウディオは『失敗した例は呼び出した時点でその英雄が誰なのか認識できなかった場合ではないか』と考えたのである。
『英雄である』という事実を認定するためには『その人物が偉業を成した』と知る人が必要である。すなわち、認識するものがいなければ『英雄である』とはいえない。だとすれば、英雄の魂がいくら強靭だとしても、不安定な魂という形が故に固着するためにはそれを為す『誰か』の認識なしには為し得ないのではないだろうか。













Ernesto Diaz
エルネスト・ディアス

バレンシア王国第二王子

偶然の出会いから、
世界の運命を背負うこととなった戦士。
様々な困難を乗り越え、
戦士として成長していく。

Baldr
バルドル

「神々の貴公子」と呼ばれた英雄。





Claudio Diaz
クラウディオ

バレンシア王国第一王子
冷静沈着な反面、表には出さないが
弟エルネストと婚約者ディアーナを
大切に思う優しき戦士。

Tyr
テュール

勝利を約束された軍師。







Diana
ディアーナ

アラゴン王国第一王女

クラウディオの婚約者である彼女は、
彼の助けとなるべく戦いに身を投じる。
その行動的な姿に、
皆は勇気づけられていく。

Sleipnir
スレイプニール

地上と死者の国を行き来する
８本の足を持つ馬。





Valerie
ヴァレリー

謎の甲冑少女
容姿、表情が一切の謎に包まれた少女。
しかし中身は少女らしく、そして段々と
エルネストの強い心に励まされていく。



Brynhildr
ブリュンヒルデ

人との想いを叶えられなかった
悲劇のワルキューレ。





Pablo
パブロ

バレンシア王国警備隊長
陽気で楽観的な性格の裏には、
義理堅さをも持ち合わせている。
誰に対しても明るく接する彼は、
戦という暗い環境に明るさを灯す。

Odin
オーディン

太古の世界において
神々の長である英雄。





Urraca
ウラッカ

旧カスティリア王国第一王女
国の復興のために、
戦いに身を投じる美しき戦姫。
身分や立場に重きを置く礼儀正しき少女。

天之尾羽張
アメノヲハバリ

炎の神を斬った剣が
英雄となった。





Clefi
クレーフィ

旧ビテュルス統一国家貴族
信じる者に裏切られた復讐のため、
戦に身を投じる若き貴族。
その瞳には、静かな怒りが
映し出されている。



Sigurd
シグルズ

竜殺しの名をはせた英雄。



Surt
スルト

太古の世界を焼き払った英雄。

Gregoire IV
グレゴアール四世

ガリア帝国皇帝
第一次英武戦争において、大陸の大半を支配下においた皇帝。
その欲は止まらず、虎視眈々と世界征服を狙っている。



Sigyn
シギュン

奸計の英雄の妻であり、
彼が、捕縛された際にずっと連れ添った英雄。

Megistos
メギストス

ガリア帝国宮廷魔道師
英雄武装を創り出した天才魔道師。
目的のため、利用できるものを全て利用していく。





Rodolfo
ルドルフォ

ガリア帝国軍第一部隊将軍
帝国最強の部隊を率い、猛将の名を持つ猛者。
いかなる時も揺るぎない信念を持ち続ける
強靭な精神の持ち主。

Ymir
ユミル

太古の世界において、
初めて生まれた英雄。





Ailes
エイル

ガリア帝国皇帝親衛隊「三戦鬼の翼」
美しき翼を持つ青年。
その翼は、大切な二人を守るために
空高く羽ばたく。



Hermod
ヘルモーズ

兄のために、死者の国へ旅をした英雄。





Blanc
ブランカ

ガリア帝国皇帝親衛隊「三戦鬼の牙」
信じられるものは仲間だけ……。
戦災孤児だった彼の瞳には、恨みの炎が宿る。

Garm
ガルム

死者の国の門を守る番犬。





Rose
ローズ

ガリア帝国皇帝親衛隊「三戦鬼の毒」
美しき花には毒がある。
臆病な瞳の奥にみえる愛情の心は
彼女を強くさせる。



Hel
ヘル

死者の国の女王



Fefnir
ファブニール

黄金を手に入れ、人の姿を捨てた英雄。

No Life King
ノーライフキング

はざまの世界の王
１００年ごとに選ばれる王。
その姿勢は、守るべき律に従い
はざまの世界を想う。



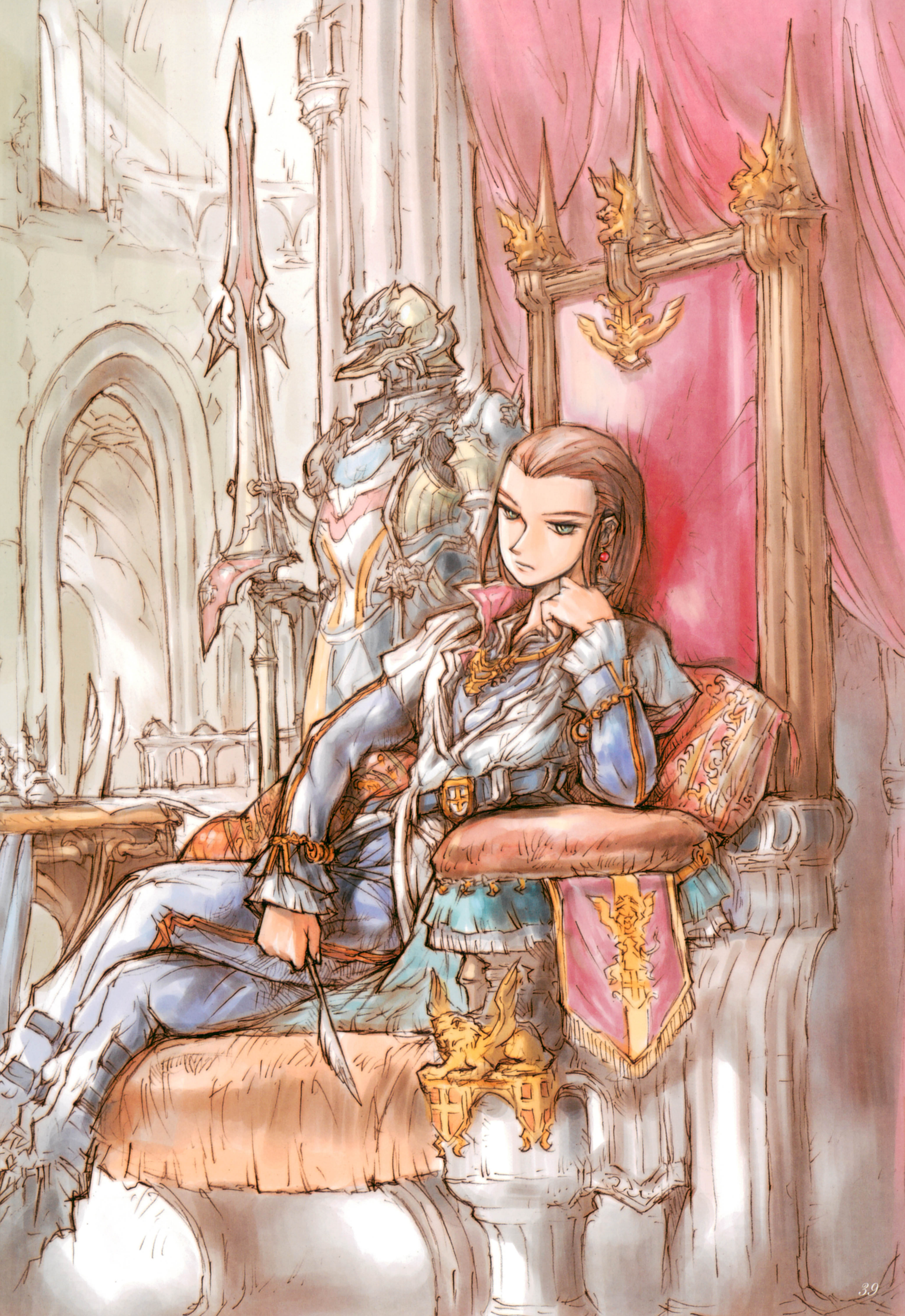
Borr
ボル

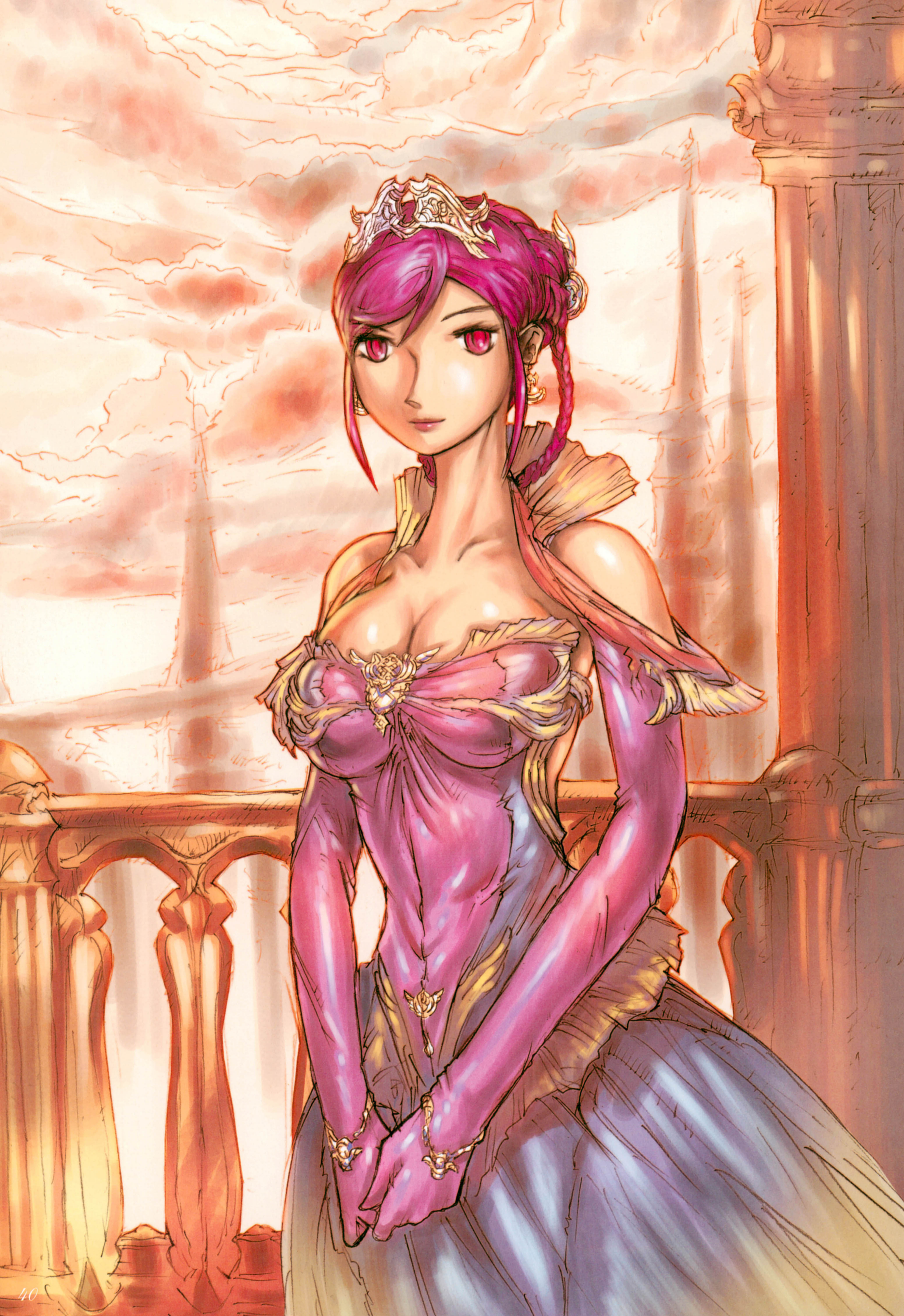
太古の世界において
神々の長の父。

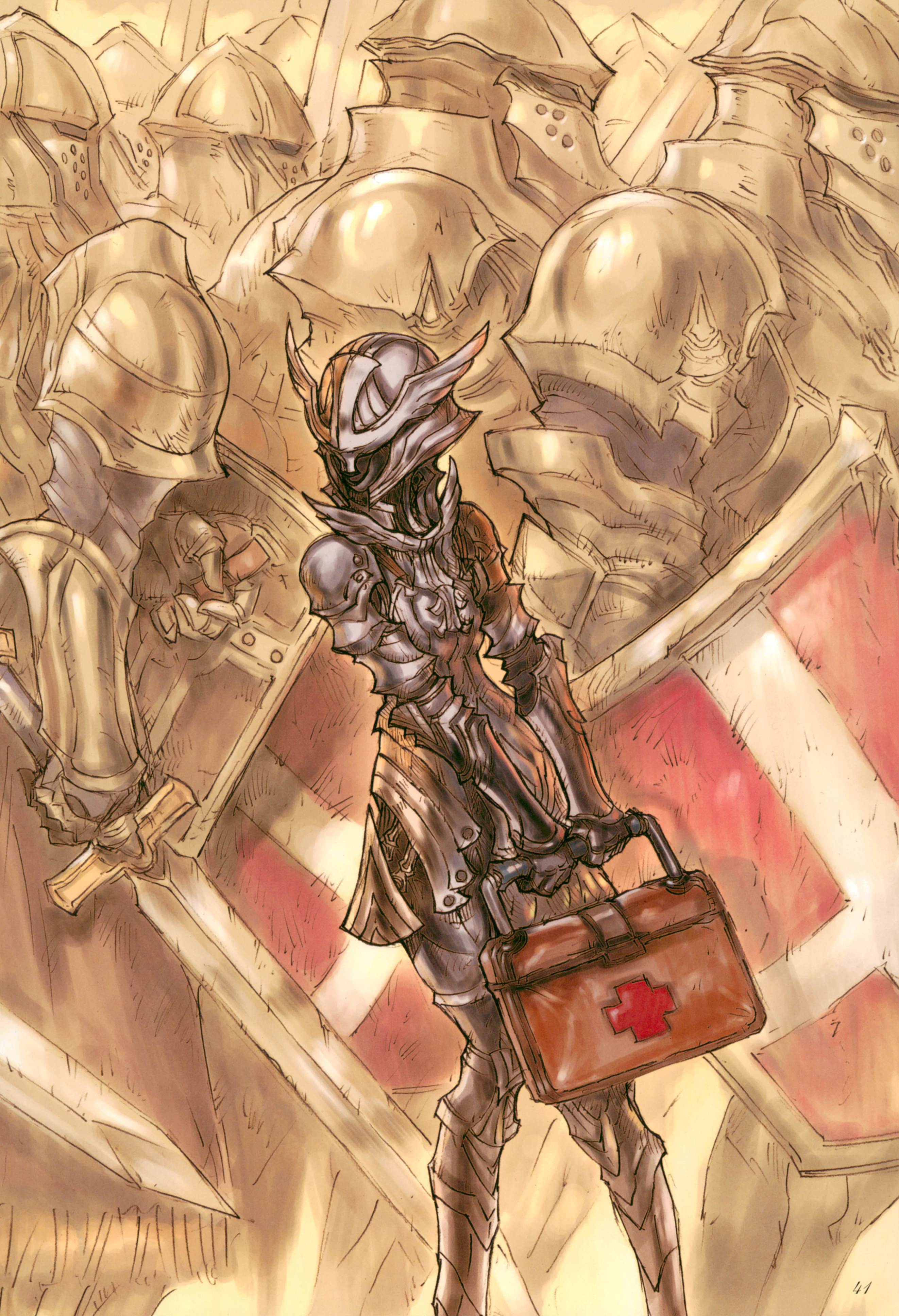
Lord Words
ワーズ卿

不死者
自ら魔道をほどこし、生きたままライフレスとなった。
不死の身体を持ち、生きる者全てをアンデッド化させる。



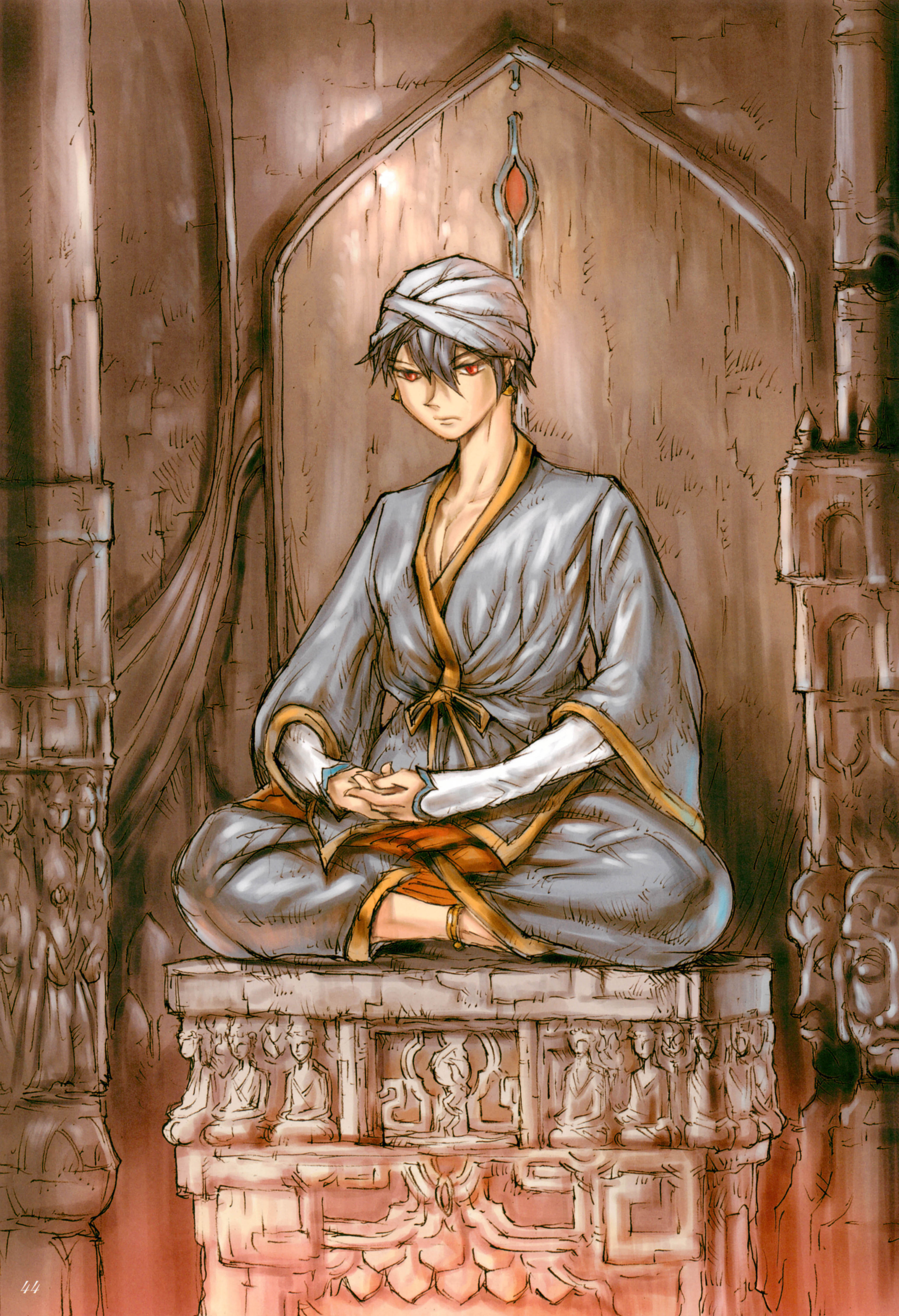






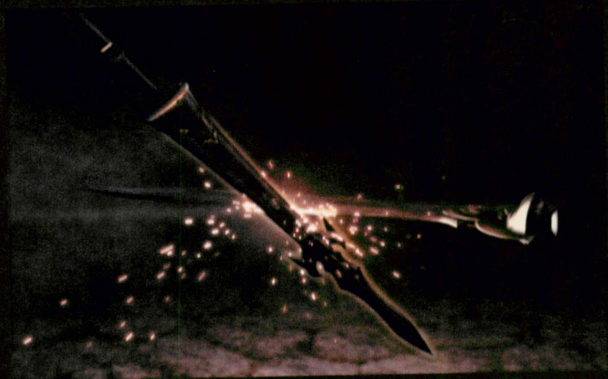




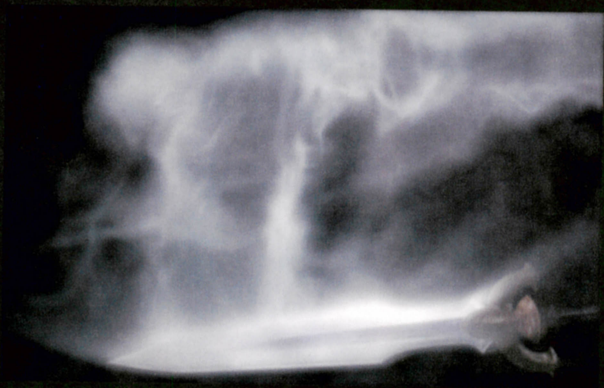




Movie Continuity














武器をとれ

Colophon

P 1 ———— 扉絵

「主人公を中心とした重厚なイメージで描きました。後ろにいる英霊にも注目してください」

P 8〜9 ——— 英霊軍団

「過去に生きた英雄達の圧倒的な力強さを表現しました。威圧感は伝わりましたでしょうか?」

P 10〜11 —— 戦国絵巻

「圧倒的な戦力に立ち向かう主人公たちの姿。見開きの大ボリュームでお楽しみ下さい」

P 38 ———— 戦士の休息

「激戦の最中でも休息中には笑顔がこぼれます。ほっと一息する姿が伝わりますでしょうか?」

P 39 ———— 後顧の憂い

「弟とディアーナ、そして国を守るため日々悩む姿をイメージして描きました」

P 40 ———— 黄昏時のお姫さま

「普段、お転婆のお姫さまでもドレスを着ると雅やかに。夕日にとけ込む凛とした姿に注目です」

P 41 ———— 彼女の戦場

「戦えないかわりに、右へ左へ忙しなく皆の世話をする彼女の健気な姿に注目してください」

P 42 ———— 道草

「町に出かけているひととき。戦いを忘れ町に出かけているのですが、目的はナンパなのでしょう」

P 43 ———— 桜花爛漫

「美しい桜、和風の建物。古き日本のような美しい景色と麗しい彼女の笑顔に注目してください」

P 44 ———— 明鏡止水

「瞳の奥にうつる苦い思い。精神統一し、心を無にしている姿に色々な思いを込めてみました」

P 45 ———— ３人の絆

「本来は、このように3人仲良く笑顔で過ごせたはずの光景。幸せな様子が伝わりますでしょうか?」



Illustration by
Hiroyuki Taguchi

ヒロユキ
ダーツライブ


英雄戦記
レーヴァテイン
HERO'S SAGA LAEVATEIN
™
GungHo Works
NOT FOR SALE